

令和6年度 危険物取扱者試験 試験案内

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により宮城県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

一般財団法人 消防試験研究センター宮城県支部

試験のお申込み前に必ずお読みください。

- ※ 受験に際し、疾病や負傷、障がい等のために受験上の特別な配慮が必要な方は、試験当日の申し出には応じられないことがありますので、受験願書提出前に必ずご相談ください。
(3ページ参照)
- ※ 一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。
また、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失した場合は、再度払込みをしていただきますのでご注意ください。
(「振替払込請求書兼受領証」では受付できません。)
- ※ 願書受付締切日を過ぎてからの「試験日」・「試験種類」・「受験地」の変更及びキャンセルはできません。
- ※ 自然災害等により試験の実施について変更する場合があります。
変更、中止及び延期等になる場合は、当センター宮城県支部のホームページに掲載しますので、最新の情報を確認してください。
- ※ 試験案内は最後まで必ずよく読んでください。
記載されている内容に同意した上で、お申込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。
- ※ この試験案内は合格発表日まで大切に保管してください。

問合せ先

受付時間 9時～17時（土日、祝日、年末年始を除く）

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp>



◆ 試験に関すること

一般財団法人 消防試験研究センター宮城県支部

〒981-8577 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎5階

TEL 022-276-4840

FAX 022-276-4841



JR仙山線

「北仙台駅」から徒歩約10分

仙台市営地下鉄

「北仙台駅」から徒歩約10分

「北四番丁駅」から徒歩約10分

バス停

「宮城県仙台合同庁舎前」下車

から徒歩3分

◆ 電子申請に関すること

一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室

TEL 0570-07-1000（有料）

個人情報の取扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

(1) 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

(2) 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡・免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に対し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限り適切に取り扱います。

受験上の配慮について

受験に際し、疾病や負傷、障がい等のために受験上の配慮を希望する場合は、受験願書提出前に、申出書等の書類を提出していただきます。

詳細については、当支部にお問合せください。

なお、日常生活において使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験会場によって対応が異なるため、必ず受験願書提出前にご連絡ください。

(注1) 試験当日の申し出には応じられないこともありますので、ご留意願います。

(注2) 希望する配慮事項により対応の検討に時間がかかる場合があります。

(注3) 受験願書提出後に怪我等により、急遽受験上の配慮を要する事由が生じた場合、試験会場によっては、十分な配慮を提供することができないことがありますので事前にご確認ください。

相談の時期

必ず、受験願書提出前にご相談ください。

希望する配慮事項により対応の検討に時間がかかる場合があります。

相談の方法

電話などにより事前に連絡した上で、申出書(当センター所定の様式)等を提出してください。

(申出書等の提出は、受験願書提出前です。)

相談先

一般財団法人 消防試験研究センター宮城県支部

受付時間 9時～17時 (土日、祝日、年末年始を除く)

TEL 022-276-4840

試験日程：試験日や会場等に変更する場合がありますので、ホームページで確認してください。

試験の種類は、全日程とも「甲種、乙種第1・2・3・4・5・6類、丙種」を実施します。

試験日	受験地	試験会場	受付期間	合格発表予定日
令和6年 6月22日(土)	仙台市	東北大学 川内北キャンパス	5月2日～5月14日	7月12日
7月7日(日)	石巻市	宮城県石巻工業高等学校	5月20日～5月28日	7月29日
7月21日(日)	白石市 大崎市	宮城県白石工業高等学校 宮城県古川工業高等学校	6月3日～6月11日	8月9日
9月8日(日)	仙台市	東北大学 川内北キャンパス	7月16日～7月23日	10月1日
11月17日(日)	仙台市	東北大学 川内北キャンパス	9月30日～10月8日	12月6日
12月8日(日)	石巻市	宮城県石巻工業高等学校	10月21日～10月29日	12月27日
12月15日(日)	白石市 大崎市	宮城県白石工業高等学校 宮城県古川工業高等学校	10月25日～11月5日	1月10日
令和7年 2月16日(日)	仙台市	東北大学 川内北キャンパス	12月16日～12月24日	3月10日

(注1) 書面申請：受付期間内（受付締切日の消印有効）に申請してください。

(注2) 電子申請：受付時間は、受付開始日の9時から受付締切日の23時59分までです。

(注3) 複数の受験地がある試験では、希望する1つの受験地を願書に記入してください。

試験の種類と試験時間：試験開始前に「受験者本人確認」を行います。集合時刻までに着席してください。

試験の種類		集合時刻	試験時間
甲種		—	10時
乙種	第1・2・3・5・6類 第4類 (午前の部)	科目免除なし	10時30分～13時
		科目免除あり	10時
		乙種科目免除あり	10時30分～12時30分
		火薬免除あり(1・5類の方)	10時
	乙種+火薬免除あり(1・5類の方)	10時30分～12時	
	第4類 (午後の部)	科目免除なし	10時
乙種科目免除あり		10時30分～11時05分	
丙種	科目免除なし	14時	
	科目免除あり	14時30分～16時30分	
丙種	科目免除なし	10時	
	科目免除あり	10時30分～11時05分	

(注1) 乙種第4類は、午前の部と午後の部に分けて実施しますが、試験時間は当支部が「受験票」で指定した時間になりますので、受験者が選択することはできません。

集合時刻及び試験時間を間違えないよう注意してください。

◆ 申請者数によっては、午前の部だけの実施になる場合があります。

◆ 午前と午後、同日2回受験することはできません。

(注2) 複数受験の方は、上記試験時間と異なります。11ページを参考にしてください。

試験会場の案内

試験会場についての注意事項【厳守】

- 1 仙台市の試験会場は、受験者用駐車場はありません。
仙台市以外の試験会場の駐車場でも、駐車可能な台数が少ないため、公共交通機関の利用をお勧めします。
(注) 会場周辺の店舗等への違法駐車・迷惑駐車は絶対にしないでください。
なお、駐車にかかるトラブルについては、当センターは一切責任を負いません。
- 2 各会場校に問合せの電話をしないでください。
- 3 試験会場敷地内は、全面禁煙です。
- 4 会場へのアクセス方法は、ご自身で事前に確認してください。

◆ 仙台市「東北大学川内北キャンパス」 (仙台市青葉区川内41)

JR仙台駅からのアクセス

※地下鉄、バスの運賃及び時刻表は、仙台市交通局のホームページで確認してください。

・地下鉄東西線

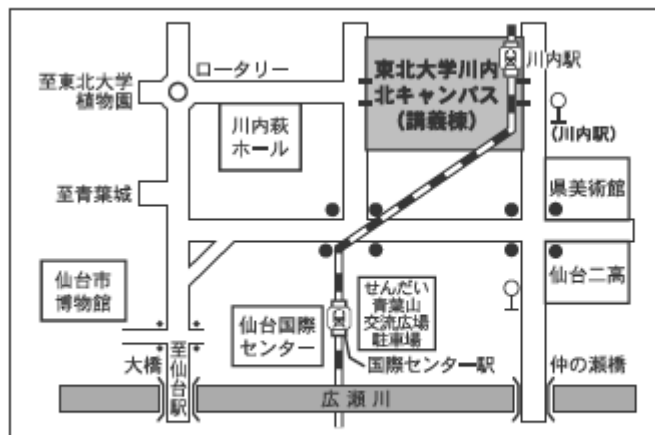
乗車駅(行き先)	降車駅	所要時間
地下鉄仙台駅 (八木山動物公園行)	川内駅	約6分

※試験会場は、「川内駅」南2番出口からすぐです。

・バス(仙台市営バス)

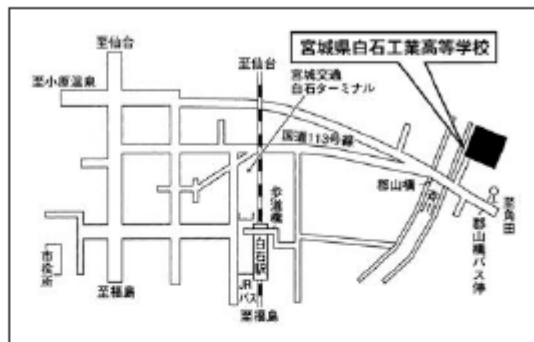
乗車駅(行き先)	降車駅	所要時間
地下鉄仙台駅 (川内営業所行)	川内駅	約15分

※上記以外の行き先もあります。



※せんだい青葉山交流広場駐車場(有料)は、イベント等で使用できない場合があります。

◆ 白石市「宮城県白石工業高等学校」 (白石市郡山字鹿野43)



◆ 石巻市「宮城県石巻工業高等学校」 (石巻市貞山5-1-1)



◆ 大崎市「宮城県古川工業高等学校」 (大崎市古川北町4-7-1)



※白石市、石巻市、大崎市
で受験する方は、試験
当日、上履き(スリッパ)
を忘れずに持参してく
ださい。

試験種類別の試験科目、問題数及び試験時間

種類	試験科目（略称）	問題数	合計	試験時間
甲種	①危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	②物理学及び化学（物化）	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種	①危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	②基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種	①危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

取り扱いができる危険物の種類

免状の種類	取り扱いができる危険物
甲種	全種類の危険物
乙種	第1類 塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類などの酸化性個体
	第2類 硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウムなどの可燃性個体
	第3類 カリウム、アルキルアルミニウムなどの自然発火性物質及び禁水性物質
	第4類 ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動物性油類などの引火性液体
	第5類 有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物などの自己反応物質
	第6類 過塩素酸、過酸化水素、硝酸などの酸化性液体
丙種	ガソリン、灯油、軽油、重油など

試験手数料と納入方法

甲種	乙種	丙種
7,200円	5,300円	4,200円

（非課税）

1 書面申請

- (1) 受験願書と一緒にお渡しした当センター指定の郵便局(ゆうちょ銀行)窓口払込用紙を使って、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の「窓口」で払込んでください。
 - (注1) ATMの払込みでは、受付できません。
 - (注2) 当センター指定試験手数料専用の払込み用紙以外(郵便局備え付けの用紙)は、使用しないでください。
 - (注3) 金額が記入されていないものは受付できません。また、金額を訂正したものは受付できません。
 - (注4) 払込みには、別途所定の払込手数料が必要です。
- (2) 郵便局又はゆうちょ銀行から戻ってくる試験手数料払込証明書「振替払込受付証明書(お客さま用)」に受付日の日附印が押印されていることを確認のうえ、受験願書B面に貼り付けしてください。
 - (注1) 本人控えの「振替払込請求書兼受領証」では受付できません。
 - (注2) ATMで払込んだ場合の「ご利用明細票」では受付できません。
 - (注3) 試験手数料払込み後の「振替払込請求書兼受領証」は、払込みの証拠(領収書)となるものです。当センターでは領収書の再発行はいたしません。

(注4) 願書に貼り付ける「振替払込受付証明書(お客さま用)」を紛失、汚損等により受験願書に貼り付けることができない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

(紛失、汚損等した場合は、再度払込みが必要となります。)

(3) 会社等で2人以上の受験者がいる場合や複数種類の受験をする方は、合計金額を一括して払込んでも構いません。その場合「振替払込受付証明書(お客さま用)」は、最初の受験願書に貼り付けし、すべての願書を同一封筒で送付してください。

2 電子申請

(1) 試験手数料は、次の決済方法から選択し、それぞれの手続きに従って払込んでください。

① ペイジー (Pay-easy) 決済※情報リンク方式、オンライン方式

② クレジットカード決済

(VISA、MasterCard、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース)

③ コンビニエンスストア決済

(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート)


※一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全てSMB Cファイナンス株式会社に業務委託しています。

(注1) 払込みには、別途所定の払込手数料が必要です。

(注2) 上記(1)③による決済方法の場合は、仮受付完了日の翌日から3日以内に払込みを完了してください。

(注3) 電子申請での領収書(書面)の発行は、試験手数料の払込み確認後に送信される「受付完了メール」に記載された領収書に代えさせていただきます。

(注意) 一旦払込みされた試験手数料は、受験されない場合でもお返しできません。払込みする前に、試験日・受験地・試験種類などよく確認してください。



試験手数料は、(一般)消防試験研究センターのホームページで確認してください。

郵便局(ゆうちょ銀行)窓口用用紙

- 手数料は、必ず郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口で払い込んでください。
- この用紙でATM(現金自動預払機)による払込みは、行わないでください。
- 金額の訂正は無効ですので、左記QRコード等によく確認して記入してください。誤った金額を記入してしまった場合は、新しい払込用紙に記入しなおしてください。
- 受験願書(日面)には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼ってください。
- 本人控えである「振替払込請求書兼受領証」は、ご本人が大切に保管してください。

※ 試験手数料については、非課税です。

↓

郵便局・ゆうちょ銀行で回収されます

本人控え

受験願書に貼付する部分

00	東京	払込取扱票	
001703	136220	金額	¥0000
一般財団法人 消防試験研究センター		料金	備考
* (郵便番号 980-0014)			
住所 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台マンション5-512			
氏名 宮城県太郎			
(電話 090-3987-0000)			
郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書(お客さま用)」に日附印の押印をうけてください。			
願書には、必ず日附印がある「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼ってください。			
金額の訂正は無効です。			
ご換領人欄に、住所・氏名を記入してください。(捺印欄を54円未満)			
これより下欄には何も記入しないでください。			

振替払込請求書兼受領証	
日附印を押し、金額を記入してください。	金額
001703	136220
一般財団法人 消防試験研究センター	金額
住所 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台マンション5-512	¥0000
氏名 宮城県太郎	日附印
(電話 090-3987-0000)	料金
郵便局	備考

振替払込受付証明書(お客さま用)	
(郵便局・ゆうちょ銀行)の窓口で換領人(ご本人)が捺印してください。	金額
001703	136220
一般財団法人 消防試験研究センター	¥0000
住所 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台マンション5-512	氏名
氏名 宮城県太郎	日附印
(電話 090-3987-0000)	料金
郵便局	備考

貼ってください

日附印なき証明書は無効
(本人/申請試験研究センター)

1 試験手数料の金額を必ず記入してください。
(金額のないものは受付できません。)

甲種 7,200円
乙種 5,300円
丙種 4,200円

2 試験手数料の金額を間違えた場合は、再度、払込み用紙を入手してください。
(金額の訂正は無効です。)

3 郵便局又はゆうちょ銀行から払込み後、受付局日附印が押されているか確認してください。

- 7 -

甲種危険物取扱者試験

1 受験資格

次表に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

次表「略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

対象者	大学等及び資格詳細	略称	証明書類
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した方 (18ページ別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校	大学等卒	卒業証明書の原本又は卒業証書・学位記のコピー (学科又は課程の名称が明記されているもの)
	大学、短期大学、高等専門学校、高等学校の専攻科、中等教育学校の専攻科		
	防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等、専門職大学の前期課程を修了		
〔2-1〕 大学等において化学に関する授業科目を通算して15単位以上修得した方 (18ページ別表2参照)	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院、専門職大学院、専修学校	15単位	単位修得証明書の原本又は成績証明書の原本(修得単位が明記されているもの)
	高等専門学校(専門科目に限る)		
〔2-2〕 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (18ページ別表2参照)	大学、短期大学、高等専門学校の専攻科	15単位	単位修得証明書の原本又は成績証明書の原本(修得単位が明記されているもの)
	防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等		
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状のコピー及び乙種危険物取扱実務経験証明書(様式願書B面裏)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類(必須) ○第5類(必須)	4種類	乙種危険物取扱者免状のコピー
〔4〕 修士・博士の学位を有する方 (18ページ別表1参照)	修士・博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方 (外国の同学位も含む。)	学位	学位授与証明書の原本、学位記・修了証書のコピー又は修了証明書の原本 (学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)

(注1) 証明書類については、該当の学科、専攻、修得単位等が明記されているものが必要です。
(証明書類の氏名に変更がある方は、戸籍抄本や裏書きされた運転免許証(写し)などを添付してください。)

(注2) 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票又は結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。(コピー可)
(「資格判定コード」欄に番号が印字されているものに限り、)

(注3) 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については、修業年限2年以上のものに限ります。

(注4) 〔1〕、〔2-1〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)に内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。)

(1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し

(2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時間が1700時間以上であることを証明する書類(20ページ書式例1を参照)

- (注5)〔2-1〕の大学等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。
放送大学も同様に算定できます。
また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- (注6)〔2〕の「単位修得証明書」(20ページ書式例2を参照)
- (注7)〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面表の様式を使用してください。(17ページ参照)
- (注8)旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 2 科目免除はありません。

乙種危険物取扱者試験

- 1 受験資格はありません。
2 科目免除

試験の免除

乙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。
免除を希望される方は、15ページ⑮を参照するとともに、免状のコピーを貼付してください。

免除資格者	免除類別	試験科目 (略称)	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状 をお持ちの方	全類	①法令	全部免除	0問	10問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消		10問		
火薬類免状 をお持ちの方	第1類 第5類	①法令		15問	24問	1時間 30分
		②物化	一部免除	4問		
		③性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状 及び火薬類免状 をお持ちの方	第1類 第5類	①法令	全部免除	0問	5問	35分
		②物化	全部免除	0問		
		③性消	一部免除	5問		

[備考] 火薬類免状は、次の免状をいいます。
○甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法第31条第1項)
○甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法第31条第2項)

丙種危険物取扱者試験

- 1 受験資格はありません。
2 科目免除

試験の免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。
免除資格を有する方で、免除を受ける方は、受験願書の「該当する」に○を付けるとともに次の2点の証明書類を貼付してください。

①5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類(消防団長又は市町村長が証明するもの)
②消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類(消防学校長が証明するもの)

免除資格者	試験科目 (略称)	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	①法令		10問	20問	1時間
	②燃消	全部免除	0問		
	③性消		10問		

受験申請に必要な書類・提出方法

1 書面申請

必要書類	受験願書	① かい書でていねいにボールペンで記入してください。 (受験願書は、複写式となっておりA面とB面があります。) ② 「※印」以外の欄の該当するところは、すべて記入してください。 (15～17ページ参照)		
	試験手数料	郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日附印が押印された「振替払込受付証明書(お客さま用)」(7ページ参照)		
	その他 (該当者のみ)	甲種受験者	受験資格を証明する書類(8ページ参照)	
		乙種受験者で科目免除を受ける方	科目免除資格を証明する書類(9ページ参照)	
		丙種受験者で科目免除を受ける方	科目免除資格を証明する書類(9ページ参照)	
すでに危険物取扱者免状の交付を受けている方		危険物取扱者免状のコピー(表・裏) ※科目免除の有無にかかわらず受験願書B面裏に貼ってください(17ページ参照)		
	複数種類の受験を希望する方	受験する種類ごとに受験願書を作成(11ページ参照)		
願書提出方法等	① 受験願書の提出は、原則郵送とします。 ② 試験の種類ごとに必要な書類等をそろえ、「特定記録」郵便により、折り曲げないで必ず受付期間内に申請してください。 (受付期間最終日の消印があるものまで受付します。) (受験願書が受理されているかどうかのお問合せには応じることができません。「特定記録」郵便を利用すると、ご自身で配達状況を確認することができます。) ※ 他県で受験する方は、受験する都道府県の支部等に郵送してください。 宮城県支部では、宮城県内の受験地の願書以外は受付できません。			
注意事項	① 一度受理した願書は、願書受付期間を過ぎてからの「試験日・試験種類・受験地」等の変更及びキャンセルはできません。 ② 当センターで受理された受験申請書類、試験手数料はお返しできません。 ③ 試験手数料払込み後の「振替払込請求書兼受領証」は、払込みの証拠(領収書)となるものです。当センターでは領収書の再発行はいたしません。 ④ 願書受付期間を過ぎてから提出された願書及び記載事項や貼付書類に不備がある場合は、受理できません。 この場合は、受験申請書類を申請者負担で返送いたします。			
受付期間	4ページ参照(受付期間最終日の消印有効)			
願書郵送先	一般財団法人 消防試験研究センター宮城県支部 〒981-8577 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎5階			
問合せ先	TEL 022-276-4840 9時～17時(土日、祝日、年末年始を除く)			

2 電子申請

電子申請ができる方	一般財団法人 消防試験研究センターホームページ (https://www.shoubo.shiken.or.jp) にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。	
	甲種	4種類以上の乙種免状（8ページ参照）による受験資格を適用して受験する方
	乙種 丙種	証明書類が不要な方（火薬類免状による科目免除を希望する方、消防団員による科目免除を希望する方は申請できません）
	再受験	過去3年以内に受験したことのある方で、同じ種類・内容で受験を希望する方（一度受付しているので証明書類は不要ですが、その時の受験票(控え)又は結果通知書が電子申請の入力に必要です）
	(注) 受験番号、資格コード等に関する問合せには、お答えできません。 (注) 仮受付完了表示後は、試験日の変更及び試験種類の変更はできません。(願書情報入力最後の最後に表示) ※ 試験手数料ご入金後の『受付完了メール』ではありません。	
試験手数料	ペイジー決済、クレジットカード決済又はコンビニエンスストア決済(仮受付完了翌日から3日以内)により払込みを完了（7ページ参照）	
受付期間	受付開始日の9時から受付締切日の17時まで（24時間申請可能） （4ページ参照）	
問合せ先	一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室 専用電話 0570-07-1000 (有料) 受付時間 9時～17時（土日、祝日、年末年始を除く） (注) 上記に、書面申請の受験願書を郵送しないでください。 「受験票がダウンロードできない。」「受付完了メールなどのメールが届かない。」などの問合せ先になります。	

【備考】氏名の漢字について

書面申請及び電子申請の際、漢字氏名で特殊文字(外字：JIS規格外の文字)が使用されている場合は、一時的に、一般的に使われている文字(JIS規格の第1・第2水準までを標準とする。)を使用いたしますのでご了承ください。
合格後の免状交付申請の際に、お申し出により正しい漢字に修正いたします。

複数種類の受験：書面で申請してください。

すでに乙種危険物取扱者免状を取得している方は、他の乙種（第4類を除く）の試験を3種類まで同時に受験することができます。

この場合、試験時間は1種類につき35分間です。

乙種を2種類受験する場合 試験時間35分×2種類＝1時間10分

乙種を3種類受験する場合 試験時間35分×3種類＝1時間45分

※ 甲種及び丙種は、同時に受験できません。

※ 受験願書は受験する種類ごとにそれぞれ作成し、同一封筒で申請してください。

試験の方法

解答方法は、マークシート方式です。(HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム以外は使用できません。)

甲種、乙種については、5肢択一。丙種については、4肢択一です。

(注) 電卓、計算尺、テンプレート等の定規類、携帯電話・スマートフォン等の端末機器、腕時計を使用したり、机上に置くことは禁止です。

受験票について

受験票の送付	書面申請した方	試験日の約10日前に受験票(圧着ハガキ)を郵送します。受験票が届かない場合は、必ず試験日前の金曜日(祝日の場合は木曜日)の12時までに当支部へ連絡してください。
	電子申請した方	申請時に入力された電子メールアドレスあてに『受験票印刷可能メール』を試験日の約10日前までに送信します。受験者本人がダウンロードして受験票を印刷してください。

受験票の内容をよく確認してください。

住所・氏名に誤りがある場合

試験当日、試験室で記載事項の修正用紙を受け取り、正しい内容を記入して監督員に提出してください。

試験の種類・免除科目に誤りがある場合

試験日前の金曜日(祝日の場合は木曜日)の12時までに当支部へ連絡してください。当支部で入力誤りがあった場合に限り、修正します。

試験当日では申し出に依ることができませんので、必ず確認してください。

受験票を紛失又は届かない場合

試験当日、受験票を再発行いたします。その際は、受験票に貼る写真(縦4.5cm×横3.5cm)、身分証明書(写真付き)を試験本部に持参してください。

試験当日の持ち物

- 1 写真を貼った受験票
- 2 HB又はBの鉛筆又はシャープペンシル
- 3 消しゴム
- 4 会場が高等学校の場合は、上履きやスリッパ(スリッパの貸し出しは一切行いません。)

写真について

- ・受験日前6ヵ月以内に撮影した写真。
- ・正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像。
- ・縦4.5cm、横3.5cmの大きさで枠なしの鮮明なもの。
- ・髪が目にかからないこと。
- ・サングラスは不可
- ・デジタル写真は写真専用紙に印刷(プリント)したものに限りま。
- ・裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。
- ・セロテープで貼らないこと。

良い写真



悪い写真



- ・写真は、受験者本人の確認及び免状作成の際に使用します。

受験票の見本及び写真について

《書面申請による受験票の見本》

試験室が記載されます。

複数受験者の方は「複数受験者の座席番号」が記載されます。

氏名を記入してください。

《電子申請による受験票の見本》

正しい文字が入力できなかった方は試験当日試験監督員に申し出てください。

印刷されている住所を確認してください。

試験日前に受験票をダウンロードしてA4の用紙に印刷してください。

試験当日の注意事項

- 1 **写真を貼った受験票を必ず持参してください。**
試験当日に「受験票を忘れた」、持参した受験票に「写真を貼っていない」又は「本人と確認できない写真を貼った」場合には、受験できない場合があります。
- 2 試験室ではHB又はBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム以外は使用できません。
- 3 試験室では、携帯電話、スマートフォンの電源及び時計等のアラーム機能を切り、カバン等にしまってください。
- 4 集合時刻(試験開始30分前)までに着席して、試験に当たっての注意事項の説明を受けてください。
- 5 試験室へは、集合時刻の30分前から入室できます。
- 6 試験問題集の持ち帰りはできません。(持ち帰った方は失格となります。)
試験問題集が紛失した場合、聞き取り調査及び持ち物の検査をすることがありますので、予めご了承ください。
- 7 他の受験者に迷惑となる行為があった場合は、試験中でも退場していただくことがあります。
- 8 **不正行為及び係員の指示に従わない場合は、退場を命じ、失格とします。**
- 9 受験上の特別な配慮が必要な方の試験当日の申し出には応じられないことがあります。
- 10 **仙台市の試験会場は、受験者用駐車場はありません。仙台市以外の試験会場の駐車場でも、駐車可能な台数が少ないため、公共交通機関の利用をお勧めします。**
- 11 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当支部とは一切関係ありませんので、ご注意ください。
- 12 災害や天候により電車又は地下鉄が遅延した場合の連絡先 022-276-4840
受付時間 <午前の部 9時30分～10時30分まで/午後の部 13時30分～14時30分まで>
※出欠の連絡は不要です。会場までのアクセス案内はしません。上記理由以外の遅刻は認めません。

合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者はともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60パーセント以上であること。(試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。)

合格発表

- 1 合格発表予定日は、4ページを参照してください。
- 2 発表日には、(一財)消防試験研究センター宮城県支部に合格者の受験番号を掲示するとともに、当センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)にも合格発表日の正午から合格者の受験番号を掲示します。
また、**受験者全員に試験結果通知書を合格発表日に郵送します。**
(試験を欠席された場合は、試験結果通知書は郵送しません。)
- 3 受験番号や試験結果の可否、試験問題及びその解答に関する問合せには、一切応じられません。
- 4 **試験結果通知書が合格発表後1週間たっても届かない場合は、1ヶ月以内にご連絡ください。**
(連絡がない場合は、到着したものとみなします。)

試験合格後の免状交付申請について

次のものを用意のうえ、郵送(原則)で申請してください。

1 免状交付申請書及び試験結果通知書

- (1) 試験合格者の試験結果通知書(圧着されたハガキ)を開くと、左側が試験結果通知、右側が免状交付申請書です。
- (2) 試験結果通知と免状交付申請書は切り離さずに提出してください。
- (3) 記載事項に誤りがないか確認のうえ、必要事項(申請年月日、申請者名(合格者本人)、電話番号)を記入してください。
- (4) 受験願書の氏名を省略して記載した方、印字された申請書の内容に誤りがあった方、電子申請で入力できなかった文字を訂正する方は、赤字で訂正してください。

2 免状交付手数料（非課税）

- (1) 申請 1 種類につき、2,900円の宮城県収入証紙を交付申請書の裏面に貼ってください。
 (注1) 収入印紙ではありません。
 (注2) 宮城県収入証紙を貼るときは、セロハンテープは使用しないでください。
 (注3) 宮城県収入証紙に過不足がある場合は、受付できません。
- (2) 宮城県収入証紙は、仙台銀行、県内に本店がある信用金庫、七十七銀行(一部の店舗)などで販売しております。(郵便局やコンビニエンスストアでは扱っていません。)
 (消防試験研究センター宮城県支部のホームページから宮城県ホームページの売りさばき所一覧表にリンクされています。)
- (3) 宮城県収入証紙の購入が困難な方は、現金書留で2,900円を申請書と一緒に提出してください。
- (4) 複数種類の申請をする方は、それぞれの申請書に宮城県収入証紙を貼ってください。

3 既得危険物取扱者免状

- (1) すでに、危険物取扱者免状をお持ちの方は、必ず申請書と一緒に提出してください。
 ただし、業務上免状を携帯する義務のある方は、免状のすべての面のコピーを提出してください。
 (この場合、新たな免状が交付されしだい旧免状は当支部に提出しなければなりません。)
- (2) 氏名や本籍(都道府県名)に変更のある方、免状を紛失された方は、それぞれ書換えあるいは再交付の手続きが必要です。
- (3) 新たに交付される免状が届く前に次の試験を受験する方は、受験願書に添付する免状のコピーをあらかじめ用意してください。

4 新規免状返送用封筒

- (1) 新たに交付される免状を申請者に送るための封筒です。
- (2) 「簡易書留」郵便で新免状を送りますので、封筒に434円(令和6年4月1日現在の金額)の切手を貼って、あて先に免状の受取りができる住所(自宅や勤務先)と申請者の氏名を記入してください。裏面には受験番号を記入してください。(下図参照)
- (3) 複数種類の申請をする方も、封筒は1枚で結構です。
 (注1) **令和6年秋以降に郵便料金の改定が見込まれます。**
 改定後に申請される場合は、返送用封筒に貼る切手の金額にご注意ください。
 (注2) 免状返送用封筒の宛名が申請者以外の場合、受取りを委任することが書かれた委任状が必要です。

5 免状交付予定日

免状交付申請書類の受付から約3週間後です。
 (申請書類に不備がある場合は、不備の補正の終了後が受付日となります。)

6 その他

- (1) 郵送による申請の場合は、事故防止のため「特定記録」郵便をお勧めします。
 (特定記録郵便物等の受領証は、免状交付まで大切に保管してください。)
- (2) 試験日から6ヶ月以上経過後に申請する場合は、申請前6ヶ月以内に撮影した写真(1枚)が必要になります。
- (3) 免状に旧姓併記をご希望の場合は、事前にお問合せください。

危険物取扱者試験結果通知書 及び危険物取扱者免状交付申請書記入例

記載内容を確認後、
申請者(合格者本人)
が署名してください。

危険物取扱者試験結果通知書 あなたの試験結果は下記のとおりです。		危険物取扱者免状交付申請書	
氏名	〇〇〇〇	申請日	年 月 日
試験日	〇年〇月〇日	受験番号	〇〇〇〇
試験の種類	乙種第4類	住所	〒 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇
受験番号	〇〇〇〇〇〇	電話	〇〇〇〇
試験科目コード	00	自宅又は勤務先住所	〒 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇
合否区分	合格	申請手数料	〇〇〇〇円
結果公示日	〇年〇月〇日	免状交付日	〇〇年〇月〇日

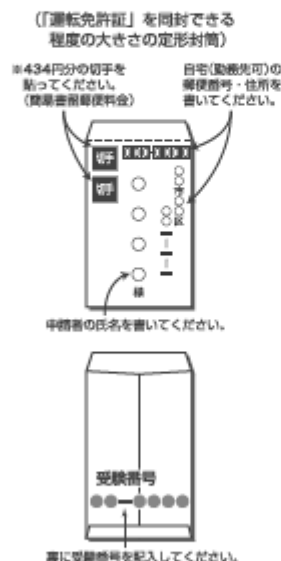
※この通知書の試験結果は、必ずお読みください。試験結果が合格の場合は、試験結果通知書に添付されている「危険物取扱者免状交付申請書」を提出してください。試験結果が不合格の場合は、試験結果通知書に添付されている「不合格理由書」を提出してください。

※試験結果が合格の場合は、試験結果通知書に添付されている「危険物取扱者免状交付申請書」を提出してください。試験結果が不合格の場合は、試験結果通知書に添付されている「不合格理由書」を提出してください。

〇年〇月〇日
 一般財団法人 消防試験研究センター 理事長
 宮城県支部

裏面の手数料欄に「宮城県収入証紙」2,900円分を貼ってください。

新規免状送付用封筒の作成例



※簡易書留郵便送料は、令和6年4月1日現在の金額です。
 (令和6年秋以降に郵便料金の改定が見込まれます。)

II 危険物取扱者試験受験願書 (全国共通)		1	2
一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名 宮城県	申請日 令和 06 年 05 月 02 日
3 申請者名	ミヤキ ナ	ケンタロウ	
4 氏名	氏 宮城	名 県太郎	フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください
5 生年月日	大 昭 和 55 年 10 月 10 日生	本籍 宮城	都道府県 宮 本籍コード 04
7 郵便番号	980-0014 必ず記入してください	自宅電話番号 又は携帯電話番号	090-3987-0000
8 住所	宮城県仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台マンション5-512	勤務先名又は学校名 (株)宮城商店	連絡先電話番号(携帯電話も可) 022-276-4840 内線()
11 試験日	令和 06 年 06 月 22 日	メールアドレス(任意)	@
12 試験種類	甲 乙 丙 種 第 4 類	17 他の都道府県での受験申請状況	
13 受験地	仙台市	都道府県コード	試験種類
14 甲種受験資格		試験日	
15 科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する)	試験日	
16 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	甲 乙 丙 種 第 1 類	18 該当する職業等に1つだけ○を記入してください	
19 免状取得の有無について記入してください	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	免状番号	1234 5678 9000
21 取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	元号コード (昭和3 平成4 令和5) 甲 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 交付番号 <input type="checkbox"/>	準入力番号	交付知事 コード
	乙1 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 交付番号 <input type="checkbox"/>		
	乙2 4 12 年 04 月 07 日 05555		東京 13
	乙3 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 交付番号 <input type="checkbox"/>		
	乙4 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 交付番号 <input type="checkbox"/>		
	乙5 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 交付番号 <input type="checkbox"/>		
	乙6 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 交付番号 <input type="checkbox"/>		
	丙 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 交付番号 <input type="checkbox"/>		
*団体コード <input type="checkbox"/>		*受付機関コード <input type="checkbox"/>	*分類コード <input type="checkbox"/>
			(A面) 試験センター発行 506

受験願書記入要領

- ◆ 受験願書A面の「記入上の注意」をよく読んでから記入例に従って記入してください。
- ◆ A面及びB面があり、複写式となっております。折り曲げたりしないでください。
- ◆ 黒色のボールペンを使用し、かい書で正しく書いてください。
書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
(訂正印は不要です。)
- ◆ 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0(ゼロ)を前に付けてください。
- ◆ 受験願書は本人が記入してください。

A面

①	都道府県名欄には「宮城県」と記入してください。
②	受験願書提出日(郵送日)を記入してください。
③	左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1マスを使用してください。
④	住民基本台帳に記載されている字を左づめで記入してください。 外国籍の方は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤	該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。
⑥	本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の方は「外国籍」と記入してください。 本籍コードは、受験願書B面裏の都道府県等コードを記入してください。
⑦	郵便番号を正しく記入してください。
⑧	住所は、現に居住している所を都道府県名から記入してください。また、濁点・半濁点が入る場合は、1マスに記入してください。 マンション、アパートの場合は、名称と部屋番号を必ず記入してください。 ※字数が多い場合は、余白を使って全て記入してください。当センターで省略できる箇所を判断します。
⑨	電話番号の局番等の間は、1マスを使用して「-」でつなげてください。 ※平日の昼間に連絡のとれる電話番号を必ず記入してください。
⑩	勤務先・学校名等を記入してください。 ※勤務先等への連絡に不都合が生じる場合は、勤務先の電話番号は記入しないでください。但し、平日の昼間に連絡のとれる電話番号を必ず記入してください。
⑪	受験する試験日を記入してください。 ※受付締切後の試験日・試験の種類・受験地の変更及びキャンセルはできません。
⑫	受験する試験の種類に○を付けてください。 乙種受験者は、受験する危険物の「類」を記入してください。
⑬	受験地は、4ページを参照して記入してください。 受験地が2か所の場合は、いずれかの受験地を記入してください。
⑭	甲種受験者は、8ページの表「略称」を記入するとともに、証明書類をB面裏に貼ってください。 (乙種、丙種の受験者は記入する必要はありません。)
⑮	乙種第1類又は第5類の受験者で、火薬類の免状を有する方は、該当する事項に○を付けてください。 なお、試験科目免除を「受ける」に○を付けた場合は、火薬類免状のコピーをB面裏に貼ってください。 すでに乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状のコピーをB面裏に貼ってください。 丙種の受験者で9ページによる試験科目の免除を受ける方は、「該当する」に○を付けて証明書類2点をB面裏に貼ってください。
⑯	複数の類を同時に受験する方は、この受験願書以外の受験願書の受験種類を記入してください。
⑰	3か月以内に宮城県以外の都道府県で受験申請した場合は、記入してください。
⑱	該当する箇所の職業等に○を付けてください。
⑲	危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。
⑳	免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入してください。
㉑	危険物取扱者免状の交付を既に受けている方は、該当する全ての種類を記入してください。 (元号コード 昭和：3, 平成：4, 令和5)(都道府県コードはB面裏を参照) なお、免状の表・裏のコピーをB面裏に貼ってください。

B面記入例

B面（表）

試験受験願書

申請日 年 月 日

本籍 都道府県

自宅電話番号
又は携帯電話番号

勤務先等連絡先

「振替払込受付証明書（お客さま用）」を全面的り付けする。

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

金額を記入してください。
甲種 7,200円
乙種 5,300円
丙種 4,200円
(消せるボールペン使用厳禁)

宮城県太郎

必ず郵便局の受付局日附印を確認してください。
◎「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失しても当センターでは責任を負えません。紛失した場合は、再度払込みをしてください。
なお、後日発見された場合は、申し出により払い戻しいたします。

B面（裏）

各種証明書等貼付欄
この部分にのりづけしてください
なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しない

都道府県等コード表

北海道01	福島07	東京13	山梨19	滋賀25	鳥取31	香川
青森02	茨城08	神奈川14	長野20	京都26	高松32	愛媛
岩手03	栃木09	新潟15	岐阜21	大阪27	岡山33	高知
宮城04	群馬10	富山16	静岡22	兵庫28	広島34	福岡
秋田05	埼玉11	石川17	愛知23	奈良29	山口35	佐賀
山形06	千葉12	岐阜18	三重24	和歌山30	徳島36	長門

「実務経験2年以上」の受験資格で甲種を受験する方のみ必要です。

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名 ○○○○ ○○年○月○日生

取扱った危険物 第4類 品名 ガソリン、灯油、軽油

取扱った年月 ○○年○月○日から ○○年○月○日まで

期間 (○年○月)

製造所の区分 製造所 貯蔵所 取扱所 ← 該当するものに○をつけてください

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明年月日 ○○年○月○日

事業所名 ○○○株式会社 ← 事業所(会社等)の印 両方必要です

証明者 代表取締役 ○○○ ← 証明者の私印

氏名 ○○○

電話 000 - 000 - 0000

既往危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

危険物取扱者講習の状況

修了年月日	講習実施機関	監印
H25.10.24	宮城県	宮城成知事

危険物取扱者免状をお持ちの方は受験資格・科目免除に関係なく免状のコピー（表、裏）を貼ってください。
※氏名、本籍に変更のある方は書き換えが必要です。

（所定の払込用紙）

ゆうちょ銀行側の控え

払込取扱票

00 東京

0001703136220

金額 ¥00000

一納付書提出人 消防試験研究センター

住所 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台マンション5-512

氏名 宮城県太郎

電話 090-3987-0000

こちらを願書に貼ってください。

受取者本人の控え（領収書）

振替払込請求書受領証明書

0001703136220

金額 ¥00000

一納付書提出人 消防試験研究センター

住所 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台マンション5-512

氏名 宮城県太郎

電話 090-3987-0000

貼ってください

・金額の訂正は無効ですので、新しい所定の払込用紙を使用してください。

・金額の記載が無いものは受付できません。

別表 1 化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等
(表に記載されていない学科又は課程は、宮城県支部にお問い合わせください。)

化学に関する学科又は課程等の名称			
ア 安全工学科	コ 工業材料科	セ 製造業学科	フ 物質生物科学科
イ 医療薬学科	厚生薬学科	生体機能応用工学科	物質生物工学科
エ 衛生薬学科	高分子学科	生体物質工学科	物質生命工学科
オ 応用原子核工学科	高分子工学科	生体分子工学科	物質生命システム工学科
応用生物科学科	高分子材料工学科	生物応用工学科	物質分子科学科
応用生物工学科	サ 材料開発工学科	生物機能工学科	物質分子学科
応用生命科学科	材料科学科	生物工学科	物質理工学科
応用生命工学科	材料科学工学科	生物資源科学科	プロセス工学科
応用微生物工学科	材料加工工学科	生物資源利用学科	分子工学科
カ 環境生命科学科	材料学科	生物生産科学科	分子システム工学科
環境物質工学科	材料機能工学科	生物分子科学科	分子生物学科
環境マテリアル学科	材料工学科	生物薬学科	分子生命科学科
キ 基礎理学科	材料物性学科	精密素材工学科	分子素材工学科
機能高分子学科	材料物性工学科	精密物質学科	マテリアル科学科
機能高分子工学科	材料プロセス工学科	生命理学科	マテリアル工学科
機能材料工学科	シ 色染工芸学科	製薬学科	ム 無機材料工学科
機能物質科学科	資源工学科	繊維工学科	ヤ 冶金学科
機能分子工学科	資源素材工学科	繊維高分子工学科	冶金工学科
金属加工工学科	システム量子工学科	ソ 総合薬学科	薬科学科
金属学科	食品科学科	総合薬品科学科	薬学科
金属工学科	食品学科	素材工学科	薬劑学科
金属材料科学科	食品工学科	ト 塗装科	薬品科学科
金属材料工学科	食品工業科学科	ハ 醗酵工学科	有機材料工学科
ケ 原子工学科	食料科学科	醗酵生産学科	薬業工学科
原子力科	森林資源科学科	フ 物質科学科	林産学科
原子力工学科	セ 製劑学科	物質科学工学科	林産工学科
原子炉工学科	製糸学科	物質工学科	

別表 2 化学の授業科目の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目
(表に記載されていない科目は、宮城県支部にお問い合わせください。)

化学の授業科目の名称			
ア アモルファス物性工学	カ 化工熱力学	キ 金属製錬学	コ 格子欠陥
安全管理学	化工物理学	金属組織学	公衆衛生学
安全工学	化工流体力学	金属の相変態	高重合反応
安全防災工学	化石エネルギー	金属表面処理	合成鉱物
イ 移動現象論	火薬学	金属物性	抗生物質
移動速度論	ガラス工学	ケ 計算溶液特論	厚生薬学
医薬品安全性学	ガラス材料	結晶回折	合成薬品製造学
医薬分子設計学	ガラス状態論	結晶材料工学	構造用金属材料
医用高分子機能学	ガラス物性	結晶評価工学	酵素利用学
エ 衛生工学	環境汚染物質分析学	原子エネルギー工学	鋼中非金属介在物
衛生薬学	環境物質工学	原子核工学	鉱物学
栄養学	感光物性論	原子力工学	高分子科学
エレクトロセラミックス	岩石学	原子炉材料学	高分子学
エレクトロニクス材料工学	官能基変換論	原子炉燃料	高分子工学
オ 応化・プロセス工学	キ 機器分析	コ 高温材料	高分子合成
カ 回折結晶学	機能高分子学	高温反応工学	高分子構造
界面工学	機能性高分子材料学	光学活性体合成論	高分子固体構造論
界面制御学	機能性材料工学	高機能材料特論	高分子コロイド科学
界面電子工学	機能性触媒工学	高機能材料プロセス特論	高分子材料学
界面物性	機能性有機材料	工業火薬学	高分子反応
科学史	機能セラミック論	工業材料	高分子物性論
核燃料工学	凝固論及び結晶生成金相学	工業排水処理	固相変態論
核燃料サイクル特論	金属学	工業燻業学	固体反応
核融合概論	金属加工学	工業微生物学	固体表面科学
核融合工学概論	金属材料学	工業微生物学	固体物性論
化工熱工学	金属材料工学	工業分析	固体平衡論

コ	コロイド学	セ	精密材料物性	ハ	バイオテクノロジー	フ	分離工学
サ	細胞培養学		精密素材工学		バイオプロセス工学		分離システム工学
	材料解析		精密分離工学		培養工学		分離装置工学
	材料開発工学		精密有機合成特論		爆発工学	ハ	粉粒体工学
	材料科学		製薬学		薄膜材料工学		平衡論
	材料加工学		生理活性物質学		醗酵学		平衡・反応論
	材料強度学		精鍊漂白論		醗酵工学	ホ	放射線計測学
	材料強度物性学		石油開発工学		醗酵工業論		放射線物性計測学
	材料結晶学		石油生産工学		醗酵生産学	マ	膜機能工学
	材料工学		接合学		バルブ学		マテリアル工学
	材料構造解析学		接着及び接着剤		バルブ工学	ミ	水処理工学
	材料精製工学		接着学		半導体工学		水処理実験
	材料精密工学		セメント工学		半導体材料		水の分子工学特論
	材料組織学		セラミック科学		半導体デバイス工学	ム	無機材料学
	材料組織形成論		セラミック基盤材料		反応工学		無機材料工学
	材料熱力学		セラミック工学		反応性物質材料		無機電子制御反応
	材料反応学		セラミック材料学		反応操作		無機薬品製造学
	材料物性学		セラミックス概論		反応速度論	メ	免疫薬剤学
	材料物理工学		セラミックス材料工学	ヒ	非金属材料	モ	木材化学
	材料プロセス設計		セラミックス電子材料		非晶質科学		木材成分学
	錯塩基及び酸化還元		セラミックプロセスング		微生物遺伝学		木材糖化論
	産業廃水処理		セルロース科学		微生物学		木質材料学
シ	色彩工学		繊維高分子工学		微生物機能学		木質資源化学
	色染実験		選鉱学		微生物工学		木質資源工学
	システム安全工学		先端材料物性特論		非鉄材料学	ヤ	冶金学
	焼結固体反応論	ソ	相平衡論		非平衡論		冶金工学
	焼成材料		相変態論		表面・界面工学		冶金反応工学
	醸造学		素材工学		表面工学		薬科学
	醸造工学	タ	耐火物概論		表面分析		薬学
	醸造工業概論		耐熱材料特論		肥料学		薬理学
	状態方程式特論		多結晶材料工学	フ	ファインケミカル工業分析		薬品学
	融媒工学		単位操作		複合材料機能学		薬品工業概論
	融媒設計		単位反応学		腐食及び防食学		薬品製造学
	融媒反応工学		単結晶材料工学		物質移動プロセス特論		薬品製造工学
	食品衛生学		蛋白質工学		物質科学		薬品分析学
	食品栄養学	チ	超高温材料		物質工学		薬物学
	食品科学		調剤学		物質構造解析論		薬用植物学
	食品工学	テ	鉄鋼材料学		物質構造論		薬理学
	食品工業微生物学		鉄鋼表面処理		物質生科学		薬効学
	食品分析学		鉄冶金		物質生物工学概論	ユ	有機機器分析
	植物分子生物学		定性分析		物質プロセス工学		有機機能性材料
	人工結晶		定量分析		物質分析法		有機金属
	人造繊維工学		電解製錬工学		物性科学		有機構造解析
ス	水質学		電解反応		物性予測論		有機材料工学
セ	製剤学		電気材料学		物性論		有機材料工業論
	製剤工学		電気電子材料科学		物体学		有機材料設計
	製紙科学		電気電子材料学		物理薬学		有機材料表面科学
	製紙学		電極反応論		プラントエンジニアリング		有機材料物性
	製紙工学		電子材料		プロセス工学		有機材料レオロジー
	製造薬学		電子物性		プロセスシステム工学		有機電解合成論
	生体機能工学		伝熱工学		プロセス制御工学		有機反応機構
	生体機能電気科学	ト	同位体地球科学		プロセスダイナミクス		有機反応論
	生体機能利用学		毒薬物学		プロセス熱力学		有機分析学
	生体工学		特殊機能セラミックス		分光分析		有機薬品製造学
	生体高分子学		毒性学		分散系物性学		融体物有機材料電子物性
	生体融媒学		毒物学		分子遺伝学	ヨ	窯業工学
	生体光反応学		土壌学		分子解析学		窯炉工学
	生体分子工学		塗装学		分子機能	リ	粒子線結晶学
	生体分子反応		塗装工業科学		分子機能設計学		量子分光学
	製鉄製鋼耐火物	ニ	ニューセラミック概論		分子構造論		量子力学
	生物機能開発学	ネ	燃焼学		分子シミュレーション特論		林産学
	生物機能工学		燃焼工学		分子情報計測学		林産工学
	生物機能利用学		燃焼熱工学		分子生物科学		林産製造学
	生物工学		燃焼物理科学		分子生物学		林産物製造学
	生物資源科学		粘土工学		分子設計論		臨床薬学
	生物資源利用学		燃料工学		分子素材工学		臨床薬理学
	生物反応工学		燃料工業		分子熱力学	レ	レオロジー
	生物物性学		燃料燃焼潤滑論		分子微生物学		
	生物分子科学		燃料燃焼論		分子薬理学		
	生物薬学	ノ	燃料分析学		粉体工学		
			農業学		分離科学		

◆キリトリ線で切り取り、試験合格後の新規免状交付申請の際に免状返送用封筒に貼り付けてご利用ください。

(免状返送用封筒とは、新免状を当センターからあなた様に郵送するための封筒のことです。)

①返送用封筒(長さ14~23.5cm、幅9~12cmの定形封筒)を準備してください。

②免状の受取りができる住所(自宅や勤務先)と氏名を記入してください。マンションやアパートの場合は、名称と部屋番号を記入してください。

③封筒の裏に受験番号を記入してください。

(注) 令和6年秋以降、郵便料金の改定が見込まれますので、ご注意ください。

✂ キリトリ

簡易書留
料金分の
切手

□	□	□	-	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

府都
県道

郡市
区

簡易書留

様

一般財団法人消防試験研究センター宮城県支部
〒981-8577 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
(宮城県仙台合同庁舎5階)
電話 022-276-4840

◆書式例1：8ページ(注4)(2)の書式例

◆書式例2：9ページ(注6)の書式例

書式例1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書
(専修学校用)

〇〇年 月 日 入学 〇〇科〇〇コース
〇〇年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
年 月 日生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 〇〇年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇専門課程
修業年限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
年 月 日
(専修学校の所在地)
〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇 印

(注) 証明書の書式は、例の内容が記載されていれば自由です。

書式例2 単位修得証明書

〇〇第 号

単位修得証明書

〇〇年 月 日 入学 〇〇部〇〇課
〇〇年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
年 月 日生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
年 月 日
〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇 印

(注) 証明書の書式は、例の内容が記載されていれば自由です。

(注) 学校長等が「化学に関する分野」と認められた授業科目は、原則としてそのまま単位として認めます。